

## 学校経営推進費 評価報告書（1年め）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立高槻北高等学校
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	1 生徒向け学校教育自己診断における平日の家庭学習時間の向上 2 学校教育自己診断における教員の ICT 機器の活用率の向上 3 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上
計画名	坂の上の学校から坂のふもとの家庭まで ～全校 Wi-Fi とタブレットで 授業の ICT 化を深め、家庭学習の増加で 生徒の学力向上へ～

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>(2) 学力向上・進路目標実現のための3年計画（「北高スタンダード」）の活用を図る。</p> <p>エ 授業の工夫・改善（ユニバーサルデザイン化、アクティブラーニングの導入等）を推進し、学力とりわけ思考力・表現力の伸長を図る。</p> <p>カ 平成 29 年度学校経営推進費により設置された電子黒板機能付きプロジェクターの導入により授業改革を行い、さらなる学力の向上を図る。</p>
事業目標	<p>「ICT を活用した授業改善」を強く推し進め、教員用タブレットと無線 LAN (Wi-Fi) 環境を導入することで、導入済みの電子黒板、書画カメラをより効果的・複合的に活用し、「見てわかる授業」「板書時間の削減」「机間巡視による個別指導の増加」「対話的授業」に取り組むことで授業の効率化と、生徒の思考力・表現力の伸長につなげる。さらに、2年め以降は、学情オープンネットに接続された無線 LAN (Wi-Fi) 環境を利用して、生徒が ICT 機器を活用して、家庭学習時間の報告集計、課題の授受、授業参加できる機会を増やし、生徒の自己管理能力の向上と思考力・表現力の伸長につなげる。そのことで、</p> <p>第1に、「生徒向け学校教育自己診断における平日の家庭学習時間を R3 年度は1年生 70 分以上、2年生 80 分以上、3年生 240 分以上とする。」を「H30 年度（1年 52 分、2年 56 分、3年 170 分）より毎年1・2年は 10 分、3年は 30 分ずつ伸ばし、R3 年度は1年生 80 分以上、2年生 90 分以上、3年生 260 分以上とする。」に変更、その実現をめざす。</p> <p>第2に、学校教育自己診断における『教員の ICT 機器の活用率の向上』を H30 年度 61% から、毎年5%引き上げ、R3 年度以降は 75%以上を維持する。」を付加し、その実現をめざす。</p> <p>第3に、新たに「外部学力調査における生徒（3年生）の GTZ 平均値（国数英）を H30 年度の C1 ランクから毎年1ランク引き上げ、R2 年度以後は B2 ランクを維持する。」を付加し、その実現をめざす。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Windows タブレット 25 台</li> <li>② 普通教室（28 教室）及び特別教室、体育館、職員室等（全 30 箇所）に無線 LAN (Wi-Fi) アクセスポイントを設置</li> <li>③ 学情オープンネット（以下『ON』と略す）用サーバ一式</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	<p>主担： 授業改革 PT （教頭・首席・教務主任・ICT 委員長・各教科代表者）</p> <p>主担： オープンネット PT （教頭・首席・総合調整部長・ICT 委員長・生徒指導部・情報科等の教員）</p> <p>実施者： 全教員</p>

<p><b>本年度の 取組内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 電子黒板プロジェクターの使用方法に関する新転任者向け基礎研修を実施。(4月)</li> <li>② 授業改革 PT による3年間の取組み計画策定、ICT 委員長を中心にオープンネット PT を設置、『ON』に関する各種検討の開始。(5月)</li> <li>③ 各教科での授業コンテンツの検討。Google クラスルームへの登録と利用開始。(5～8月)</li> <li>④ オープンネット PT による校内ネットワークの設計、『ON』の利用申請と各種 NWSC への依頼。(6月)</li> <li>⑤ ネットワークおよび情報セキュリティに関する校内職員研修を実施。(7月)</li> <li>⑥ 先行して職員室での教員 ID による Wi-Fi および『ON』の運用開始。授業改革 PT によるタブレット貸出選考基準の策定。(7月)</li> <li>⑦ 教室での Wi-Fi 運用準備。各教科担当が提出したシラバス・授業案に基づきタブレット貸出の選考を実施。(8月)</li> <li>⑧ 教室での Wi-Fi 運用開始。(9月)</li> <li>⑨ 導入機器を活用した実践事例をもとに職員研修実施。(10月)</li> <li>⑩ 高槻・島本地区初任者研修の幹事校として、導入機器を活用した実践事例をもとに初任者研修を実施。(10月)</li> <li>⑪ 授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証、授業改革 PT 及び各教科による次年度の計画案検討、『ON』運用見直し。(2月)</li> <li>⑫ 生徒向け Wi-Fi 利用と『ON』に関する校内職員研修。次年度タブレット貸出の選考を実施。(3月)</li> </ul>
<p><b>成果の検証方法 と評価指標</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育自己診断(生徒向け) 平日の家庭学習時間 ..... 1年60分、2年70分、3年200分</li> <li>2 学校教育自己診断(教員向け) ..... 「ICTを活用した授業により、授業力の向上につなげた。」65%</li> <li>3 学力到達度調査 ..... 「3年生のGTZ平均値(国数英)」B3ランク</li> </ol>
<p><b>自己評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育自己診断(生徒向け) 平日の家庭学習時間 H30年度 1年55分 2年46分 3年142分 → R1年度 1年61分 2年46分 3年159分 ..... (△) ※ 1年生は目標に達したが、2・3年生は目標に達しなかった。ただし、3年生は昨年度より増加した。</li> <li>2 学校教育自己診断(教員向け) 「ICTを活用した授業により、授業力の向上につなげた。」 H30年度 61% → R1年度 64%..... (○) ※ 昨年度より数値が上昇し、ほぼ目標値に達したといえる。</li> <li>3 学力到達度調査 「3年生のGTZ平均値(国数英)」B3ランク H30年度 C1 → R1年度 C1..... (△) ※ 調査が実施されるのは毎年4月であるため、実際の効果についてはR2年度の結果によると考えられる。</li> </ol>
<p><b>次年度に向けて</b></p>	<p>以下に掲げる取組みをより改善することで、評価指標の達成を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒への情報セキュリティ指導。新着任者向け Wi-Fi、オープンネットワーク、情報セキュリティ、電子黒板に関する校内研修。(4月)</li> <li>(2) 新入生の Google クラスルームへの登録、学力到達度調査により効果検証。(4月)</li> <li>(3) 教室学情ネットのクローズドからオープンネットワークへの転換作業開始。(5～8月)</li> <li>(4) 本校教諭の実践発表による校内職員研修。(8月) 教職員相互の授業見学。(6月～10月)</li> <li>(5) 授業アンケート及び学校教育自己診断で効果検証、授業改革 PT 及び各教科による次年度の計画案検討、オープンネットワークの運用見直し。(2月)</li> </ol>